

加西市議会だより

council reports No.112

第213回臨時会、第214回定例会、第215回臨時会を開催

第213回加西市議会臨時会を5月13日に開催。議長選挙、副議長選挙が行われ、議長に桜井光男議員、副議長に繁田基議員が選出され、市長不信任決議案が可決、報告案件5件が原案どおり承認されました。

第214回加西市議会定例会を6月4日から11日の日程で開催。各委員会、各種議会選出議員を決定し、人事案件7件を同意、報告2件を承認、議案2件、条例案2件を可決しました。

第215回加西市議会臨時会を7月6日から20日の日程で開催。中川市長が所信表明を行い、6名の議員が所信表明に対する緊急質問を行いました。人事案件1件を同意、平成19年度加西市一般会計予算を含む議案3件を可決しました。

CONTENTS

2~4 主な一般質問

5 定例会議決結果等一覧

6 19年度加西市議会役員・委員会委員



7月27日(金)、市内11校を代表した小学6年生23人の子ども議員による加西っ子議会が開かれました。本物の議場で、本番さながらの緊張感を持って、少子化対策やまちの活性化、農業問題などについて、大人顔負けの鋭い質問が行われました。

ここが聞きたい 市政をただす

緊急質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく加西のビジョン、病院問題、採用問題、学校問題...etc聞かせてちょうだい。

7月13日の本会議では、延べ10人の議員が質疑・市長の所信表明に対する緊急質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

加西の未来の具体的なビジョンとその達成に向けたプロセスの流れについて

Q 市長が指し示す郷土の新時代というべき

加西の未来像、具体的なこのまちのあり方というものをどのようにお考えか。そして、その具体的な未来ビジョン達成に向けて大きな枠組みとして限られた財政を何に集中し、何を産みの苦しみとして市民に我慢をしてもらうのか。財政が逼迫しているということは周知の事実だが、何でもかんでも予算をカットして、財政再建というふうには考えられていないと思う。郷土新時代、未来ビジョンという目標に向かって進んでいると思えるからこそ、投資すべき予算、カットすべき予算というメリハリに市民は納得できると考える。

なく、既に加西の各地において子育て世代が流出し、そのために、各地域コミュニティ自体が崩れ始めているという現象が見られる。子育てをする世代が加西に着目し、Uターン、Iターン等を含めて加西市に帰ってきて、住んでもらうためにどこに着目するのかを明確にすることが、大事な視点ではないかと思うが。

A 平成18年に加西市の基本理念である全国に誇れる魅力あるまちづくりということと、改革マニフェストを加西市の直面する課題ということと、70項目にまとめています。その中には、ビジョン、まちのあり方、将来の加西市のかたちを19項目位置づけています。そのほかに市民の満足の向上項目を30項目、財政再建項目を21項目で、これらを3年間の間に達成すれば、加西市は全国に誇れる加西市になろうということと、現在取り組んでおり、19年度がまさに実施の年となっています。

その執行については、PDCAのサイクルにより検証を

しながら、1日でも早く信頼のおける加西市をつくるということにしています。

子育て世代が加西で安心して生活できる、加西がそういう魅力的なまちになるためには、一つは快適な住環境ができるだけ安いコストで提供できる、住宅価格、土地代が安い、家賃が安い等、そういうことが一つの快適な住環境を提供することになるのではないかと思います。もう一つは、若い人が好んで就職できるような定職が確保されること、三つ目には、子育て世代のための財政的な支援、あるいは市民子育てサービスメニューを行政が提供すること、そして、子育てに関わるいろんな経済的な負担感、肉体的な負担感も軽減できるといふ、三つの要素が必要ではないかと考えています。

反省すべき点とは？今後の採用方法の確立は？

Q 「再選を果たした今、反省すべき点は反省し、今後に生かしていきたい

PDCAサイクルとは Plan (計画)、Do (運用)、Check (評価)、Action (見直し) のプロセスを順に実施し、このサイクルを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進する手法。

と考えております」と言われているが、反省された点は何か。この間、職員採用において、法に基づいて規則があるのに、それらに基づかないでやったというこの行為を反省すべきであるというところまで、不信感を出し、市長選挙をし、今まで来ている。ここについての反省は、やはり最大の中心だと思つ。

採用方法の確立という点について、市長のかかわりというところについてどのように考えられているのか。地方公務員法、そして地方公共団体の条例や規則に従った上で市長は任命する権利があるということであり、全国どこにおいても市長が職員の採用に関わらないような法律になつていないと思う。採用方法の一番の根本は不正ができないようなシステムをつくるということだと思つ。だれが考えても公正であるといえるような、お金でもって順番が変えられないような、圧力でもって変えられないような、だれがそういうことを考えてもできないような仕組みをつくること

大切だと思つ。現時点としてどのように考えられているか。

A 過去1期目を振り返って何を反省するかという点ですが、余り細かいしゃべり過ぎない、人の意見を聞くということがまず一つです。それと、余り遠くのこと、将来を語つても、十分理解されない面があると思つています。そして、余り先を急ぎ過ぎないということと周囲の状況をよく配慮しながら、職員の感情にも心をいたして、議会の皆さんの思いも理解しながら職務に当たるといふことが私の反省すべき点だと思つております。

多くの自治体では市長は職員の採用問題には介入しないのになぜ関与するのかというところについては、採用権者、任命権者である市長が、採用、職員の教育、そういう部分に積極的に関わつてこなかったこと自体が大きな問題だと認識しています。多くの自治体はそれを当然のことのように容認しているかもしれませ

が、市民の皆さんの役に立つよい人材を選んで、育て上げていこうとしますと、任命権者である市長が、採用の段階はもとより、教育、その後の異動の時点、人事評価の時点も、いろいろと関与していくことが大事だと思つています。ただし、過剰な関与ではだめだと思つています。加西市の現状は、その過剰な関与に至るまでの初歩的な部分でしつかりとされていない部分がありましたが、そこについては私がおもひを言ってきたという認識でおります。

地域ブランドについて

Q 地域ブランドの具体的な考え方として、どのようなものがあるのか。先般、ブドウ部会で加西コールドンベリーAの商標登録を取得している。行政として、この加西コールドンベリーAの商標登録取得に対してどのような取り組みを今後される方針なのか。

A 加西のコールドンベリーAが、地域ブ

ランド、地域団体商標というところで登録されました。これは、県内の農産物では第1号ということと認定されています。ブドウが兵庫県の安心ブランドに認定された中で、それと製品名と産地名と組み合わせた地域ブランドということ、今のコールドンベリーAが特許庁より認定されたということと、このような中で、県内第1号ということとを契機にしまして、さらに活性化を図っていききたいと考えています。

また、加西ブランドの育成には新たな農作物の開発ではなく、既に加西に存在しながら市民に知られていない魅力的な存在が、食材が多数ございます。そのように埋もれている加西産の魅力ある食材の発掘や、それらの資質と評価のPRに努め、市内消費の拡



大、直販ルートの開拓や確保などに取り組むとともに、商工会議所と協力いたしましてWeb特産品を立ち上げ、加西ブランドの育成とPRに努めてまいりますと考えています。

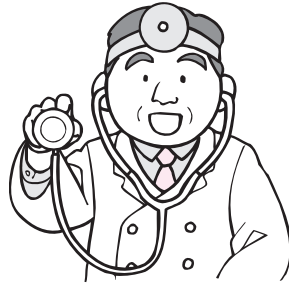
加西病院の経営強化と位置づけについて

Q 病院経営の強化という言葉で言つても、現在の医療事業は医療の高度化や専門化、または医療の質の向上に対する市民の要望の高まり、そして増大する医療費の抑制政策がとられ、医療法や医療保険制度の改正など、医療現場、経営について、複雑多様化する傾向にある。ますます厳しい病院経営が、全国各地余儀なくされている。

そこで、経営強化の位置づけとして、現在の市民のニーズに添えての一次的な強化なのか、市内で唯一の総合診療機能を有し、地域の中核の医療機関市立加西病院として今後この先守っていくための長いスパンでの経営強化なの

か、もしくは今後北播磨中核病院構想を視野に入れての強化なのか。

A 加西病院の経営強化につきまして、北播で進みつつある中核病院構想もにらみつつ、加西の地域医療を確保していくという観点からの加西病院の経営強化を考えております。



職員採用問題について

Q 法令遵守というのは、単に法律だけではなく、それに基づいて細部が定められている条例や規則、規程、またそれ以下の要領、要綱といったものが行政にはあるが、そういったものを尊重して初めて、自治体の法

令遵守ということが言えると思う。

そのことが根本になければ、市民に対して、職員に対して、事務を執行するに当たって、その信頼を勝ち取ることはできない。どんなにいい理由があっても、自分は正しい判断ができるとしても、やはりルールはルールとしておかしいところがあれば提起をして変えていく運用するというのが当然の基本だと思う。

A 制度、仕組みを変えていくために必要なのは当然のことでございます。法令や規則を守ることにはささいなことだという認識ではおりません。私として、反省すべき点は反省するとともに、そういう必要な手続きを

しっかりと事務方がフォローアップしてくれていなかったという部分については残念なことですし、今後遺漏のないように行政運営をしていきたいと認識しております。

老朽校舎建替え、公正公平な市政運営に

Q 老朽校舎の建替えについて、耐震強度調査が2月に済んだときに、県内でワースト2の危険校舎があるという中において、今後どのように建替えをしていくのか。

公平公正な市政運営に努めるということにおいて、玉丘町の水路が市の指導により町の了解もなく、勝手に地権者に図面を渡し、地権者は条件付きであるのに町に懇切丁寧な説明も、管理規約などの協定書も結ばず、もしもこのまま許可なしに橋をつくり、オープンした場合には、今後加西市に1,000余りある池の水路が、何の許可もなく橋をかけて使えるという状態になっていくことが公平・公正

な市政運営であるのか。

A ことしの2月に耐震診断を終了しました。昭和56年5月31日以前に建った建物で、耐震補強をしていないものが加西市にどれだけあるかについてワースト2ということ、加西市の学校で昭和56年以前に建った学校が非常に多いということを意味しています。また、耐震診断における1S値についても低く、耐震性能が劣るとい判断が出ています。財政難の折ですが、今鋭意、耐震化計画を立てており、具体的には一つは耐震補強、もう一つは改築ということで、これらについては、市長部局とも綿密に相談をしながら、安心・安全の根幹にかかわることです。できるだけ短い間に補強、改築等を進めていきたいというのが、教育委員会の考え方です。

公正・公平な市政運営の中の玉丘町の法定外水路のことで、本件公共物の占用許可の申請について、市としましては平成19年2月に、申請区間の全区間を開渠にというこ

と、使用区間を駐車場区間に限定させること、常時水路の流れが確認できるグレーチングぶたにさせること等の条件付許可を出しています。担当部といたしましては市長の考え方に沿った中で、地主の方や地元自治会との第三者で、市長の考え方を文書にしたもので説明、協議会を開く等を考えて努力しましたが、期的なものもあり、まとまらなかったという経緯があります。担当部としまして、遅れています。地主の方と当該水路の今後の維持管理の方法等も含めて早く調整し、地主の方から地元に対し図面の説明、水路の概要、また維持管理の方向性等を説明していただき、理解が得られるように根気強く努力していきたいと考えています。



市議会議決結果

第213回 加西市臨時会

平成19年5月13日(日)

- 報告第1号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成19年度加西市一般会計暫定予算) **原案承認**
- 報告第2号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(加西市税条例の一部改正) **原案承認**
- 報告第3号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成18年度加西市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)) **原案承認**
- 報告第4号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(加西市国民健康保険税条例の一部改正) **原案承認**
- 報告第5号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(控訴の提起) **原案承認**
- 決議案第1号 中川暢三加西市長に対する不信任決議(案)について **原案可決**

第214回加西市定例会

平成19年6月4日(月)～平成19年6月11日(月)

- 条例案第3号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第43号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第44号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第45号 農業共済事業運営協議会委員の委嘱につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第46号 損害評価会委員の委嘱につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第47号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第48号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第49号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第50号 水槽付消防ポンプ自動車の購入契約の

- 締結について **原案可決**
- 議案第51号 監査委員の選任につき同意を求めることについて **原案同意**
- 報告第6号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成19年度加西市一般会計暫定補正予算(第1号)) **原案承認**
- 報告第7号 専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成19年度加西市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)) **原案承認**
- 条例案第4号 議会の議員の報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**

第215回加西市臨時会

平成19年7月6日(金)～7月20日(金)

- 議案第52号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて **原案同意**
- 議案第53号 市立加西病院の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について **原案可決**
- 議案第54号 平成19年度加西市一般会計予算について **原案可決**
- 議案第55号 平成19年度加西市病院事業会計補正予算(第1号)について **原案可決**



平成19年度加西市議会 議会役員・委員会委員

第213回臨時会で議長、副議長が、第214回定例会で監査委員・委員会委員等の改選が行われました。

議長・副議長

議長	桜井 光男	副議長	繁田 基	監査委員	高橋佐代子
----	-------	-----	------	------	-------

議会運営・常任委員

委員会名	委員長	副委員長	委 員
議会運営	後藤 千明	高見 忍	井上智章 土本昌幸 西川正一 森田博美 森元清蔵
常任	総務	森元 清蔵	吉田 稔 井上智章 桜井光男 土本昌幸 西川正一
	厚生	高見 忍	井上 芳弘 小谷安富 後藤千明 高橋佐代子 丸岡弘満
	建設経済	三宅 利弘	山下 光昭 黒田秀一 繁田 基 別府 直 森田博美
特別	病院経営改革	吉田 稔	井上 智章 後藤千明 高見 忍 土本昌幸 丸岡弘満
	少子高齢化対策	西川 正一	別府 直 桜井光男 繁田 基 高橋佐代子 三宅利弘
	行財政改革	森田 博美	山下 光昭 井上芳弘 黒田秀一 小谷安富 森元清蔵

(50音順・敬称略)

議会を傍聴してみませんか。

本会議はだれでも傍聴できます。

本会議の場合は、本会議の開かれる当日に議会棟4階の受付にて住所、氏名を記入の上、同じく4階にて傍聴してください。障害者の方用の傍聴席は3階に2席設けています。

本会議は、3、6、9、12月に定例会が開催されます。

委員会の場合は、2階の議会事務局で名簿に住所、氏名を記入の上、委員長の許可を受けて、3階の委員会室にて傍聴してください。なお、座席に限りがございますのでお早めに受付を済ませてください。


12月議会の開催日程等につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

ようこそ！ 市議会ホームページへ

加西市議会のホームページ (<http://www.city.kasai.hyogo.jp/gyosei/gikai/index.htm>) では、本会議・委員会の日程をはじめ、発言通告締め切り後には、質疑・一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。

ぜひ一度ごらんになって、関心のある問題が議題である日の本会議や委員会を傍聴してみてください。

また、市議会だよりのバックナンバー（平成14年7月～）、本会議の会議録（平成13年6月～平成19年6月）、最新の議決結果も掲載しています。

■議会だよりは、資源保護のため100%再生紙を使用しています。 



あなたのご意見を
お寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。